

平成 28 年 12 月 9 日

行政・公衆衛生業務に関する調査へのご協力をお願い

公衆衛生医師確保のための大学と地方自治体の連携について検討することを目的として、平成 23 年度以降に京都府に行政医師として従事している、または従事経験のある先生方に自記式質問紙調査を実施させていただくこととなりました。

ご多用のところ誠に恐縮と存じますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご記入のうえ、12月22日(木)までにメールが添付の返信用封筒にてご返送のほど、よろしくお願いたします。

厚生労働科学研究【公衆衛生医師確保のための連携の在り方に関する研究班】
分担研究者・細井 創(京都府立医科大学 医療センター所長)、渡邊能行(京都府 保健医療対策監)
問合・返送先 京都府乙訓保健所 三沢あき子
〒617-0006 京都府向日市上植野町馬立 8
TEL: 075-933-1151, FAX: 075-932-6910
E-mail: a-misawa36@pref.kyoto.lg.jp
メールでは PC で直接入力できる調査票を送付させていただいております

【記入方法】 ・以下、質問項目毎に、該当する□にチェックをしてください。

・() には数字や文字をご記入ください。

A. 基本的事項

1. 性別 男性 女性
2. 現在の年代 20代 30代 40代 50代 60代
3. 現在の医師免許取得後年数
～5年未満 5～10年未満 10～15年未満 15～20年未満
20～25年未満 25～30年未満 30年以上

B. 行政・公衆衛生業務について

1. 行政・公衆衛生への従事している(または、従事した)年数
～5年未満 5～10年未満 10～15年未満 15～20年未満
20～25年未満 25～30年未満 30年以上
2. 従事行政・公衆衛生機関名() 記載例. (保健所)
3. 所属機関での肩書 医務主幹 所長 その他()
4. 行政・公衆衛生に従事した理由
医局人事・医療センター人事 自身の希望 その他()
5. 行政・公衆衛生に従事に際してのご自身の思いについて
本意だった 不本意だった どちらともいえない
6. 行政・公衆衛生業務へのご自身の適性の有無について
とてもある ある あまりない 全くない
7. 行政・公衆衛生業務へのご自身のやりがいについて
とても感じる 感じる あまり感じない 全く感じない

裏面に続きます

C. 臨床経験・研修日について

1. これまでの臨床従事年数 約()年
2. 臨床での専門領域がありましたらご記入ください ()記載例. (消化器内科)
3. 取得されている臨床領域の専門医 あり なし
「あり」の場合 専門医の名称()記載例. (消化器病専門医)
4. 行政・公衆衛生従事時の研修日の有無 あり なし
「あり」の場合 研修日の活用方法 臨床 研究 その他()
5. 行政・公衆衛生従事時に研修日は必要だと思いますか？
必要だと思う 必要だと思わない どちらともいえない
6. 臨床経験は、行政・公衆衛生業務に役立つと思いますか？
とても思う 思う あまり思わない 全く思わない
7. 行政・公衆衛生経験は、臨床や研究に役立つと思いますか？
とても思う 思う あまり思わない 全く思わない

D. 現状・今後について

1. ご自身の現状について
行政・公衆衛生医師 病院等に勤務 大学等で研究・教育
2. 下記 は、**現在、行政・公衆衛生に従事していない場合のみ**ご記入ください
行政・公衆衛生業務従事終了の理由
医局人事・医療センター人事 ご自身の希望 定年退職
今後、再び、行政・公衆衛生業務を依頼された場合
積極的に引き受けたい 条件によっては引き受ける 断る わからない
3. ご自身の今後のキャリアの希望について
行政・公衆衛生医師 病院等の勤務医 大学等での研究・教育
その他() わからない
4. 社会医学系専門医制度による公衆衛生医師育成について、どう思われますか？
よいシステムで普及が必要 必要ない どちらともいえない
5. 京都府立医科大学医療センターによる京都府の行政・公衆衛生医師人材の確保について
どう思われますか？
よいシステムで普及が必要 必要ない どちらともいえない

- E. 行政・公衆衛生医師のご経験から、公衆衛生医師の育成・キャリアパス、大学と地方自治体の連携、京都府立医科大学医療センターシステム、社会医学系専門医などに関して、ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました
(調査結果が本研究目的以外に用いられることはありません)